

授業科目 障害者福祉論Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会
星 野 恵美子		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 障害者福祉は、その歴史的展開と考え方の経緯等を正しく理解した上で、今日の障害の概念から障害者の実態、基本的理念、障害者保健福祉施策の現状を体系的に理解する。また、平成17年度には発達障害者支援法が施行され、更には、平成18年4月からは障害者に共通の自立支援のための各種福祉サービスについて一元的に規定する「障害者自立支援法」が施行されることから、新たな障害者保健福祉施策との関係を総合的に学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要（地域移行や就労の実態を含む。）について理解する。 ・ 障害者自立支援法の概要について理解する。 ・ 障害者の福祉・介護に係る他の法制度の概要について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について学ぶ				講義
2	障害者福祉の考え方を概括的に学ぶ。				講義
3	ノーマライゼーションの理念の実現に向けた取り組みを学ぶ。				講義
4	障害者の法体系、障害者とは何かについて学ぶ				講義
5	障害者福祉の国際的動向について学ぶ。				講義
6	障害者基本法について学ぶ				講義
7	障害者自立支援法の理念、目的、意義について理解する。				講義
8	自立支援給付、障害福祉サービスについて学ぶ				講義
9	障害者支援施設の種類の、支給決定の仕組みとプロセスについて理解する				講義
10	補装具、自立支援医療、地域生活支援事業等について学ぶ				講義
11	障害者自立支援制度の最近の動向				講義
12	障害者自立支援法における組織及び機関の役割と実際				講義
13	専門職の役割と実際、多職種連携、ネットワーキング				講義
14	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法の概要について学ぶ				講義
15	まとめ				まとめ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		障害者福祉論	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,310円・各年度版
		社会福祉小六法			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
1. 出席、2. レポート・小テスト、3. 期末試験を総合して評価する。		社会福祉士及び介護福祉士を目指す学生にとって必須の専門科目であるので 目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。			